

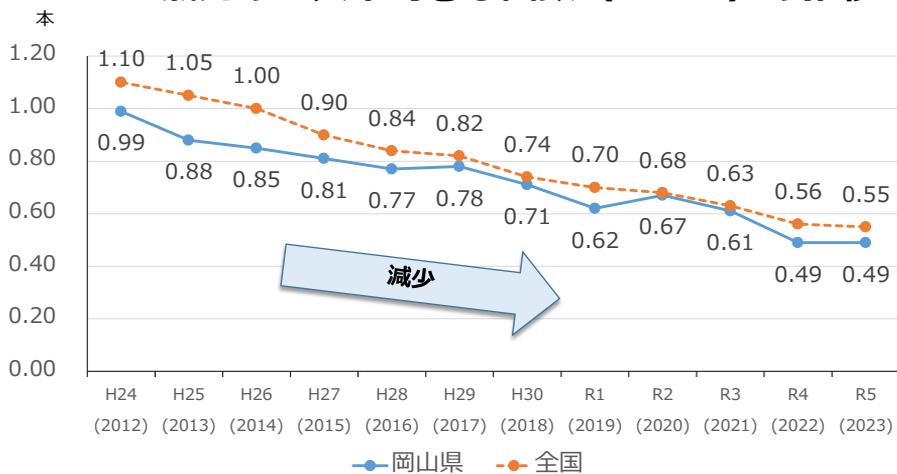
岡山県フッ化物洗口モデル事業 について

令和6年度岡山県歯科保健対策協議会資料
令和7年1月16日

1

背景 ～子どものむし歯の状況～

12歳児の一人平均むし歯数（DMFT）の推移

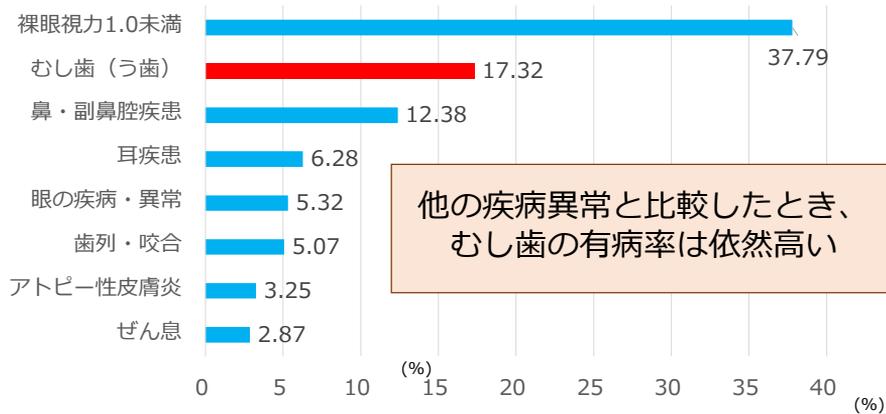


参考：岡山県：学校保健概要 全国：学校保健統計調査

2

背景 ～他疾患と比較したむし歯の有病率～

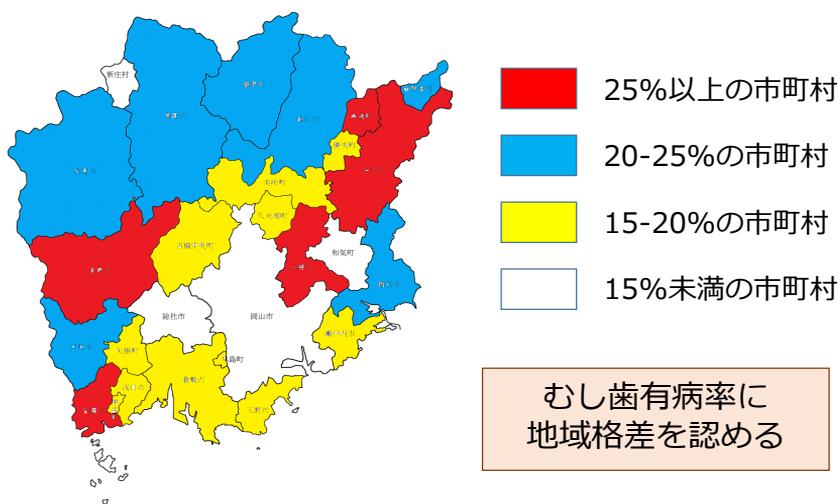
小学校における主な疾病・異常被患率



参考：令和5年度学校保健統計調査

3

背景 ～市町村別の小学生の未処置歯保有率～



参考：令和5年度学校保健統計調査

4

背景 ～乳幼児、学齢期からのむし歯予防～

むし歯予防によって得られるメリット

- 全身の健康に影響
- 健康教育としての側面
(食生活など生活習慣の見直し)



むし歯の健康格差を縮める



5

事業概要 ～フッ化物洗口モデル事業～



フッ化物によるむし歯予防効果

歯の質を強くする

エナメル質結晶の形成促進と結晶性を安定化させ、エナメル質の抵抗性を増強させます。

再石灰化を促進する

エナメル質表面層や脱灰の再石灰化を促進させます。



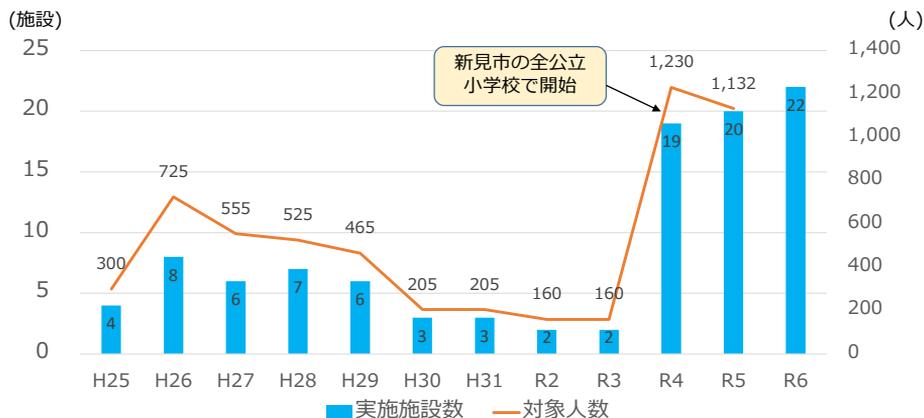
※市販の歯磨き粉の約90%にフッ化物が配合されています。

本県では平成25年から就学前施設と小学校でモデル事業を開始

参考：岡山県、岡山県歯科医師会

6

事業概要 ～これまでの実施実績～



年度	実施施設数	施設がある市町村
R2	2	倉敷市（幼稚園1）、新庄村（保育所1）
R3	2	倉敷市（幼稚園1）、新庄村（保育所1）
R4	19	倉敷市（幼稚園1）、新庄村（保育所1）、新見市（17小学校）
R5	20	倉敷市（幼稚園1）、新庄村（保育所1）、新見市（15小学校）※統合により2減、玉野市（保育園1）、津山市（2幼稚園）
R6	22	倉敷市（幼稚園1、保育園1）、新庄村（保育所1）、新見市（15小学校）、玉野市（保育園2）、津山市（2幼稚園）

全国のフッ化物洗口実施状況 ～小学校～（施設実施率）



<https://www.mhlw.go.jp/content/000711481.pdf> から作成
各都道府県におけるフッ化物洗口の実施状況について（H30年度） 8

フッ化物洗口に係る国通知

「フッ化物洗口の推進に関する基本的な考え方」について

(令和4年12月28日付け医政発1228第7号・健発1228第1号厚生労働医政局長及び健康局長通知)

- ・ う蝕予防の有効性、安全性及び高い費用便益率等の医療経済的な観点から、WHOをはじめ、様々な関係機関により、フッ化物が推奨
- ・ 健康格差の縮小や生涯を通じたう蝕予防の取組の一環として、適切なフッ化物洗口の継続的な実施が必要
- ・ フッ化物洗口法は、とくに4歳から14歳までの期間に実施することがう蝕予防対策として最も大きな効果
- ・ 小児期において、う蝕の予防及び健康格差の縮小の観点から、集団フッ化物洗口を施設等で実施することが望ましい

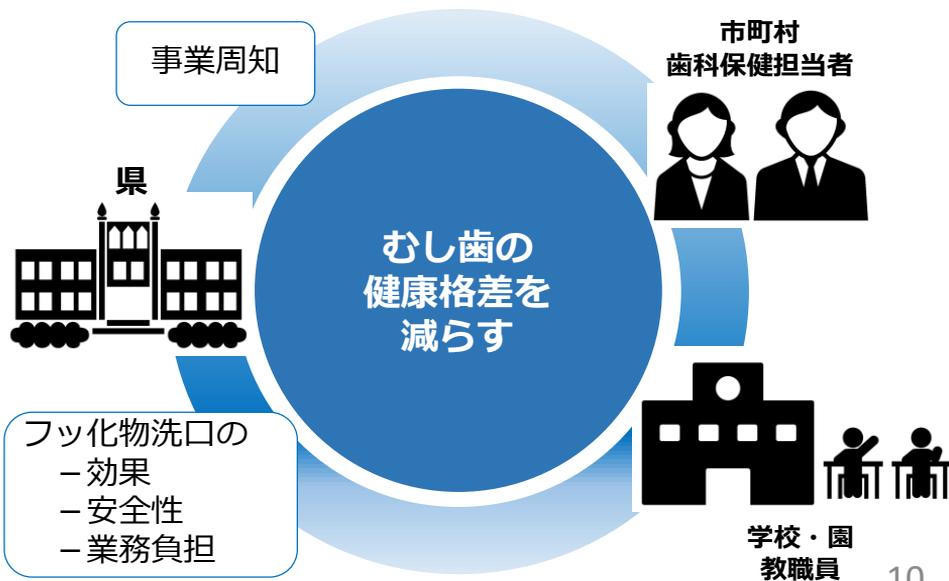
学校における集団フッ化物洗口について

(令和5年1月6日付け文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課事務連絡)

- ・ 学校において集団フッ化物洗口を実施する際には、「フッ化物洗口の推進に関する基本的な考え方」を参考に、安全性に確保し適切な方法で実施する
- ・ 実施に当たっては、例えば、市町村の歯科保健担当部局や保健センターによる実施、歯科医師会や薬剤師の協力、医薬品等販売会社への業務委託など、関係者間での適切な役割分担を検討し、教職員の負担軽減に配慮する

9

フッ化物洗口の普及に向けて



10

参考

他県の例

熊本県：
保護者・地域住民のボランティアを活用している。
(洗口液作成・分注・うがいの監視・片付け)



フッ化物洗口剤

顆粒製剤
122円/人/年



希釈不要
1600円/人/年

1人1回使い切り
4180円/人/年